

「全国学生金型グランプリ」プレス部門

最高賞と産業デザイン賞



岐阜大生ダブル受賞

全国の学生が金型製作の技術力を競う「第14回学生金型グランプリ」のプレス用金型部門で、岐阜大の学生チームが最高賞に当たる金賞と産業デザイン賞を獲得した。金賞と産業デザイン賞の同時受賞は初。19日、岐阜市柳戸の岐阜大で吉田和弘学長に受賞報告を行った。中心メンバーで大学院1年生の河瀬彩未さん(23)は「取り組みで学んだことを生かし、将来は新しい技術を開発したい」と笑顔をみせた。

作業効率の良さ評価

グランプリは4月に大阪市で開かれ、プレス用金型部門には岐阜大、岩手大、大阪工大の3校が参加。指定の製品を精密で効率良く作るための金型製作を競った。岐阜大チームは8工程を金型一つで行う作業効率の良さなどが評価された。岐阜大の金賞受賞は6度目となる。

岐阜大は「地域連携スマート金型技術研究センター」を拠点に県内外の企業と連携し、高度な金型製作の研究をしている。チームは総勢15人の理系学生

受賞を報告した岐阜大大学院の(左から)小栗理史さん、紀藤優介さん、河瀬彩未さんと吉田和弘学長。岐阜市柳戸、岐阜大

で、昨年10月から活動。センター客員准教授の谷口充さんから指導を受け、本番に備えてきた。吉田学長は受賞をたたえ、「岐阜大の強みをさらに伸ばしてほしい」とエールを送った。